

九州大学における 朝鮮語 学習者のニーズの推移について

言語文化研究院 金 秀晶

1. 初めに

今、日本全体に2002年度ワールドカップの影響で韓国語のブームが次第に増えている。九州大学にも六本松キャンパスの 朝鮮語 と 朝鮮語 の履修者が2004年度現在578人である。この数字は2003年度の履修者の486人に対しておおよそ100人が増えている。特に、 朝鮮語 の履修者が2003年度より50%増えている。これは 朝鮮語 の履修者の意識が単位取得より言語学習の持続の方に変わっていることを現わしている。

この論文は、九大の 朝鮮語 履修者のニーズがどのように変わっているのかに関するものである。2003年度の調査に基づいた拙稿(2004)「日本の大学における韓国語学習者のニーズ分析(九州大学として)」に基づいて学習者のニーズの推移を調べ、九州大学の言語科目として 朝鮮語 の言語教育的な改善方向を模索することが本稿のねらいである。

2. ニーズ調査の進行

朝鮮語 の履修者に限り、2004年度前期の最後の授業でアンケートによるニーズ調査を行った。ニーズ調査の回答者の総計は306名で、ニーズ調査紙は D.Nunan (1999:78) の learning-style preferences, Willings, 1988 を再構成したものである。

朝鮮語 履修者の個人的な背景

国籍は日本人が305人、在日韓国人が1人である。母語は全員日本語がである。年齢は18歳が113人、19歳が133人、20歳が49人、21歳が6人、22歳が4人、35歳が1人である。性別は女子学生が109人、男子学生が197人である。これは前年度(2003年度)に比べ、女子学生の割合が10%増えている。文理別では文系が99人、理系が207人である。

朝鮮語 履修者の履修理由

朝鮮語の履修の理由については様々な理由がある。分析については次のカテゴリーで説明する。

カテゴリ1: 地理的に近い, 旅行に行きたい, 親密感など

カテゴリ2: 面白そう, 文化(ドラマ, 料理なども含む), 歴史, 政治的についての興味など

カテゴリ3: 日本語と文法的に似ている, 他の外国語より簡単, ハングルの習得など

カテゴリ4: よく使うことがある, 就職のため, 旅行のため, 留学のためなど

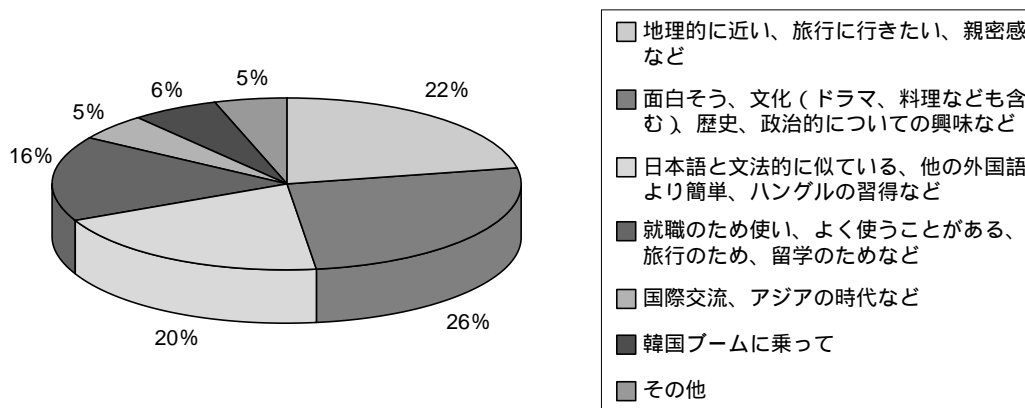
カテゴリ5: 国際交流, アジアの時代など

カテゴリ6: 韓国ブームに乗って

カテゴリ7: その他

図1に2004年度の 朝鮮語 の履修者の履修理由を示す。

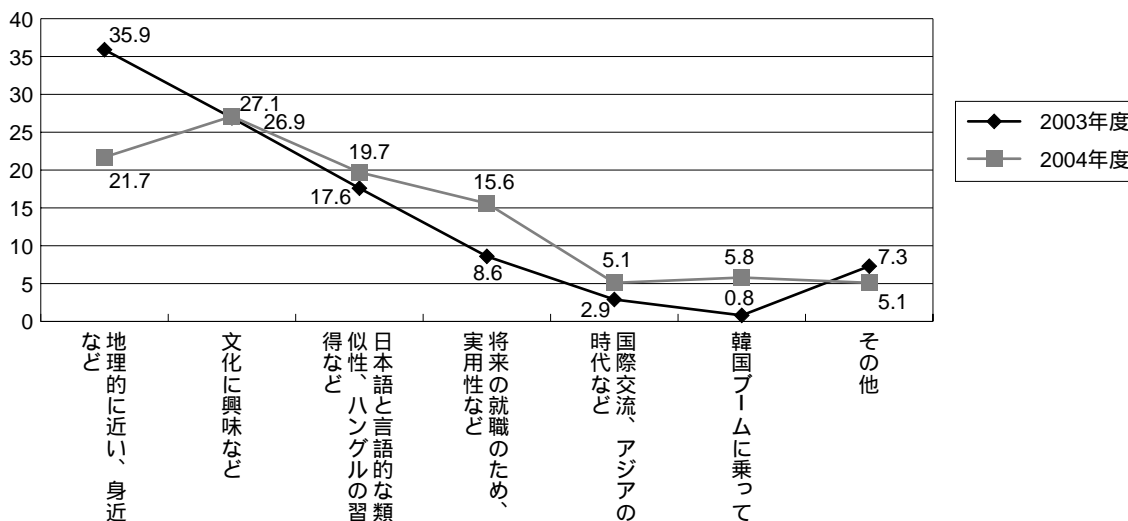
[図 1] 朝鮮語 履修者の履修理由



総回答者のうち(不明11人を除く)26%(80人)が 韓国文化に興味がある と答えている。次に 地理的に近い,身近 と22%(64人)が答えている。その次は 日本語と言語的に似ている,ハングルの習得 と20%(57人)が答えている。将来の就職や旅行などの実用性 に対しては16%(46人)が答えている。特に 韓国ブームに乗って と答えている回答者は17人で,前年の ワールドカップ と答えた者(2人)より増えている。その他 では なんとなく と答えている回答者が4人,草なぎ君のように が3人いる。知人の紹介 が4人,韓国の友達がいる が3人いた。単位取得 が1人で前年(4人)と比べて減っている。

次に,図2で 朝鮮語 履修者の履修理由の推移(2003 - 2004年度)を示す。

[図 2] 朝鮮語 履修者の履修理由の推移(2003 - 2004年)



上の結果を見ると,2004年度の 朝鮮語 の履修者の履修理由の特色は次の通りである。

文化に興味がある の答えが1位である。2位が 地理的に近い,身近 の回答である。しかし,2004年度の履修理由の中では 実用性(言語的な関心,国際交流的な関心)について数値が非常に上がっている。これは将来の日本のエリート集団になる九大学生の認識の転換と関係がある。さらに,韓国ブーム の回答は流動的な数値のみである。

言語技能 (Language Skills) 別選好度

言語技能に関しては今回のアンケートでは「発音練習」(1項目), 「話すこと」(3項目), 「聞き取り」(14項目), 「読み取り」(12項目), 「書き取り」(13項目), 「見ること」(15項目)の項目で質問している。4点満点の4段階評価で答えてもらった。表1に言語技能別選好度の結果を示す。

[表1] 言語技能別選好度 (2003年度・2004年度)

言語技能別選好度 年度	発音練習	話すこと	聞き取り	読み取り	書き取り	見ること	総平均
2003年度	2.6	2.6	2.7	2.2	1.9	3.3	2.54
2004年度	2.7	2.9	2.6	2.3	2.3	3.3	2.67

前年と比べてみると、全般的に言語技能別選好度の総平均は2003年度の2.54に対し、2004年度は2.67で少し上がっている。見ることは前年と同じ数値で、最も一番高い数値で現われている。次が話すことで、前年の聞き取りより上がって2番目の数値を示している。次が発音練習、聞き取り、読み取りの順番で前年と同じぐらいの数値が現われている。書き取りは前年と比べて上がっている。

言語知識 (Linguistic Knowledge) の選好度

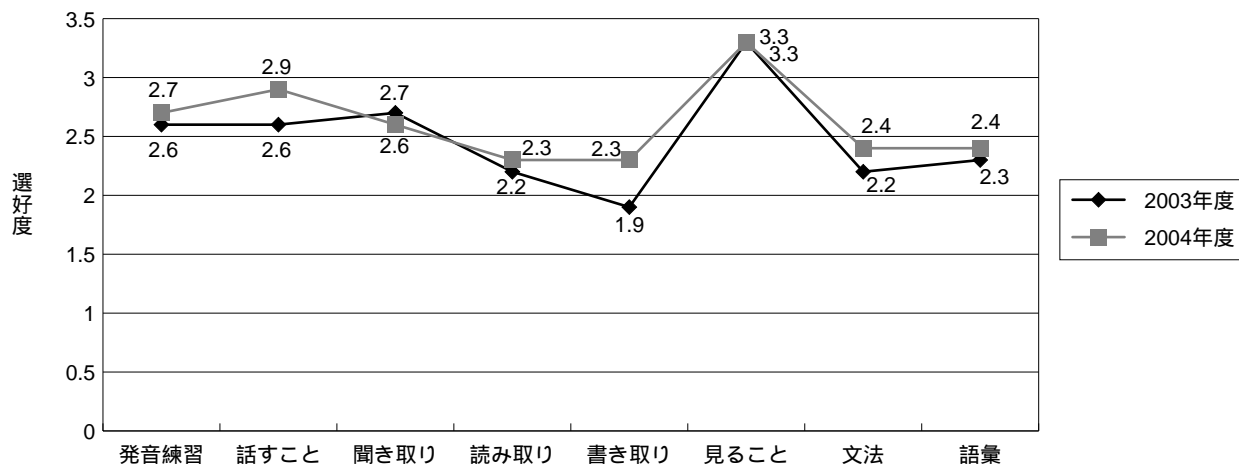
今回の調査の言語知識は文法的な知識と語彙を含んでいる。アンケートでは「文法」(13項目), 「語彙」(5項目)の項目で質問している。4点満点で選好度は次の通りである。2004年度は文法の選好度は2.4、語彙の選好度も2.4であった。この結果は、2003年度の文法の2.2、語彙の2.3と比べると語彙は同じぐらいの数値を現して、文法の場合は数値が少し上がっている。しかし全般的に言語知識の選好度はあまり肯定的な反応ではない。

[表2] 言語知識の選好度 (2003年度・2004年度)

言語知識別選好度 年度	文法	語彙	総平均
2003年度	2.2	2.3	2.26
2004年度	2.4	2.4	2.4

以上の結果と2003年度の結果の比較は次のような図で現される。図3に言語技能と言語知識の学習選好度の推移を示す。

[図3] 言語技能と言語知識の学習選好度の推移 (2003 - 2004年)



2003年度と比べて九大の 朝鮮語 の履修者の言語的な選好度を見ると、全般的に選好度の下限線が上がっているのが特色である。肯定的な評価（2.5以上）では 話すこと について選好度が非常に高くなっている。

教師に対する依存度

これに関しては 教師から詳しく説明してもらいたい（ - 4項）と 授業中にどれくらいの割合で日本語と韓国語の使用するのが望ましいですか（ - 2項）で質問した。 - 4項 の平均値は2.7で前年(2.8)より少し下がっている。 - 2項 については様々な回答が現われた。できるだけ全部日本語で が34%（101人）、できるだけ全部韓国語で が18.5%（55人）、説明は日本語で が45.1%（134人）、その他18人（不明含む）である。このような結果を見ると、できるだけ全部韓国語で と回答した学生が18.5%で前年の8.5%より非常に増えている。

朝鮮語 の授業について

(1)韓国語の学習の目標（ - 1項）

朝鮮語 の履修理由とは別に今の目標を尋ねている項目である（複数回答可）。表3に韓国語学習の今の目標を示す。

[表3] 韓国語学習の今の目標（2003年度・2004年度）

年度	目標	会話	読解 (新聞など)	文化鑑賞 (映画など)	作文 (メール、手紙など)	その他
2003年度		54.7%	19.9%	17.3%	4.9%	3.3%
2004年度		56.8%	16.3%	19.1%	5.3%	2.5%

上の表のように、2004年度の 朝鮮語 の学習者の目標は前年と同じ 会話 が最も高くなっている。読解 は前年と比べて下がり、文化鑑賞 が上がっている。その他は 看板が読めるくらい が3人、単位取得 が2人などである。

(2) 朝鮮語 の授業の中で一番難しいこと（ - 3項）

306人の回答のうち不明8人と複数回答56人を除いた結果、聞き取り が41.7%、発音 が26%、単語 が16.1%、書き取り が7%、スピーキング が3.7%、読解 が2.9%、文法 が2.5%であった。この結果は前年の 聞き取り、発音、単語 の順番と同じである。

(3) 朝鮮語 学習者の学習スタイル（ - 7項、 - 16項、 - 18項）

小さいグループで習う の選好度が2.7、ペアで練習 の選好度が2.6、一人で勉強 の選好度が2.3であった。表4に韓国語学習者の学習スタイルを示す。

[表4] 韓国語学習者の学習スタイル(2003年度・2004年度)

年度 \ 学習スタイル別選好度	小さいグループで	ペアで	一人で
2003年度	2.36	2.25	2.24
2004年度	2.7	2.6	2.3

この結果を見ると、2004年度の学習者の学習スタイルが前年度より非常に協力的な学習ができると考えられる。その理由は前年より履修動機と関心が非常に強くなったからだと思われる。前年の結果と比べて 小さいグループで学習 と ペアで練習 について肯定的な反応(2.5以上)に変わっていることはタスク中心の教授法の可能性を示している。

(4) 朝鮮語 授業の割合について

授業の運営に関して、「授業中にどの要素がどのくらいの割合を必要だと思うか」という質問をした(- 5参照)。2003年度と2004年度の授業の割合の推移を見ると、非常に目立つのは 会話 と 文法 である。会話 に関しては、2003年度の21%に対し2004年度が25.6%で非常に上がっている。逆に、文法 の方は2003年度の16%に対し2004年度は11.8%で非常に下がっている。それ以外に目立つ変化は 活動 で、7%が9.4%に上がっている。図4に履修者が考えている 朝鮮語 授業要素の割合の推移を示す。

[図4] 履修者が考えている 朝鮮語 授業要素の割合推移(2003 - 2004年度)

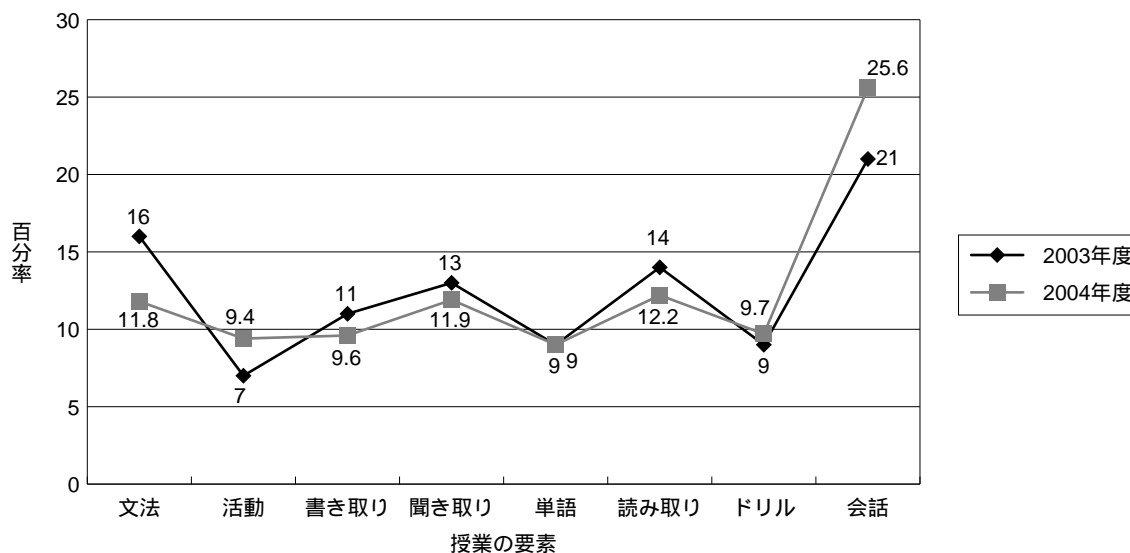
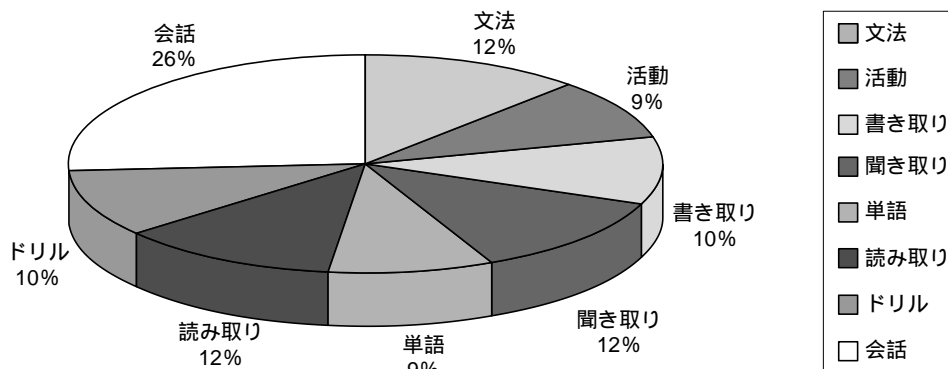


図5に履修者が考えている2004年度の 朝鮮語 の授業の要素の割合を示す。

〔図5〕 2004年度の履修者が考えている 朝鮮語 授業要素の割合



2004年度の履修者が考えている 朝鮮語 の授業要素の割合をまとめると次のようになる。つまり 会話 26% , 文法 12% , 活動 9% , 書き取り 10% , 聞き取り 12% , 単語 9% , 読み取り 12% , ドリル 10% などである。全体 (90分の授業) のうち, 言語技能 (会話26% , 聞き取り12% , 書き取り10% , 読み取り12%) が計60% (54分) で, 言語知識 (文法12% , 語彙 9%) が計21% (19.8分) で, 活動 (9%) とドリル (10%) が計19% (17.1分) である。

3. アンケート調査の結果が示唆する 朝鮮語 の言語教育的な改善方向

アンケート調査の結果は次のような教育的な改善方向を示している。

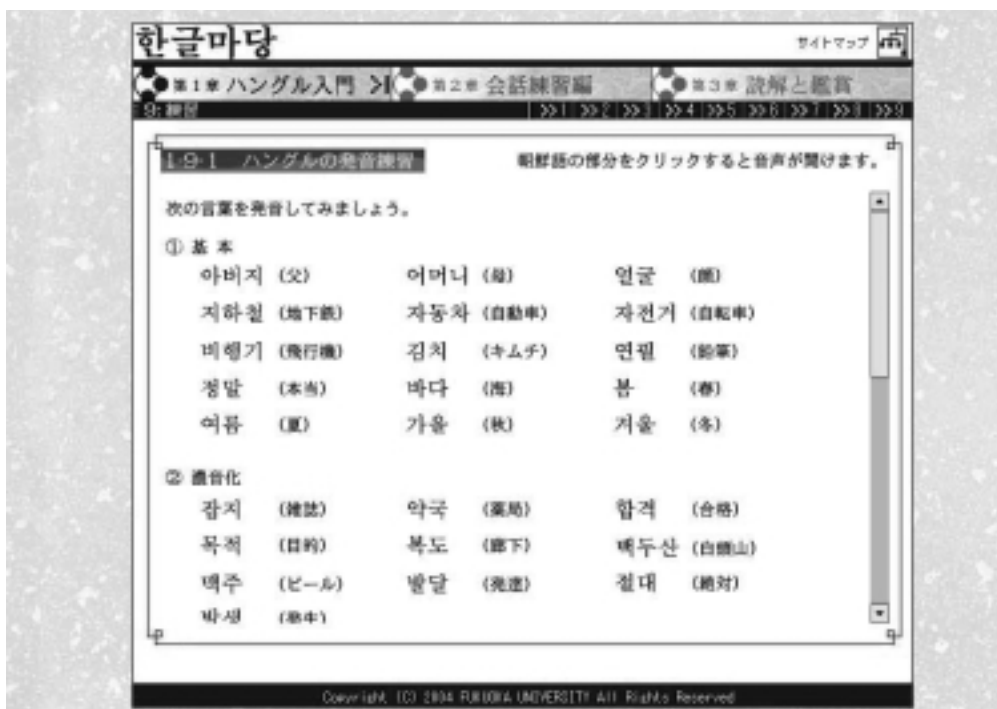
1. 2004年度の 朝鮮語 の履修者の履修理由の特色は前年と1位と2位の順位が逆になり, 文化に興味がある の答えが1位, 地理的に近い, 身近 が2位になっている。しかし, 2004年度の履修理由のうち, 実用性 と 言語的な関心 と 国際交流的な関心 についての数値は2003年度と比べて, 非常に上がっている。これは将来日本のエリート集団になる九大生の意識の変化と関係がある。この結果は単に 韓国ブーム のために 朝鮮語 の履修者が増えたのではなく, 実用的な選択をしたことが原因である。特に, 朝鮮語 の履修者が前年度より30%も増えた結果も韓国語で実用的なコミュニケーションができるように履修する学生が増えていることを示している。2004年度の前期, 朝鮮語 のクラスは3コマで, 平均人数が64人であった。朝鮮語のクラスを増やして, 会話中心の 韓国語会話 , 聞き取りと発音練習中心の 韓国語 LL , 作文, メール作成, 翻訳などの書き取り中心の 韓国語作文と翻訳 , 新聞, 韓国語のウェブサイトなどの読み取り中心の 韓国語講読 , 既存の講義中心の文化論ではなく, 学生のグループで関心を持っている韓国文化の分野を選んで, 研究発表する project 教授法を活用する 韓国語と文化 などの様々な科目とシラバスの開発が必要である。

2. 2004年度の言語技能の選好度は2.68で全般的に2003年度の2.55より少し上がっている。見ること , 話すこと , 発音練習 , 聞き取り , 読み取り の順番で, 話すこと が前年より特に上がっている。さらに, 文法 と 語彙 を含む 言語知識 は選好度がそれぞれ2.4で, 2003年度より少し上がっていたが全般的にはあまり肯定的な反応ではない。このような結果からマルチメディアによる活動などを含む 見ること の資料開発や 会話 などの 話すこと の授業運営

が必要であることが見られる。ちなみに、朝鮮語の授業については、今の韓国語の学習の目標は 会話 が1位、文化鑑賞 が2位、読解 が3位になっている。特に、会話が56.8%(2004年度)で54.7%(2003年度)より上がって、読解は前年より下がって3位になっている(前年は2位)。このような結果は、今の朝鮮語の授業が会話中心に変わらなければならないことを示している。

3. 韓国語の難しさについては前年と同じで1位が聞き取り、2位が発音、3位が単語、4位が書き取り、5位がスピーキング、6位が読解、7位が文法になっている。このような結果はマルチメディアを活用する子母字の認識 - 特にパッチム、子母字の書き取り - 陽母音と陰母音、重母音、子母音の聞き取り - 子音(有声音、無声音、濃音、激音)、母音(ㅏ/ㅗ, ㅓ/ㅜ, ㅜ/ㅟなどの区別)、コンピューターでハングルのキーボードを打つ方法などの入門段階の資料開発が必要である。図6は福岡大学のハングルのウェブサイトである。

[図 6] 福岡大学の韓国語入門段階のウェブサイト

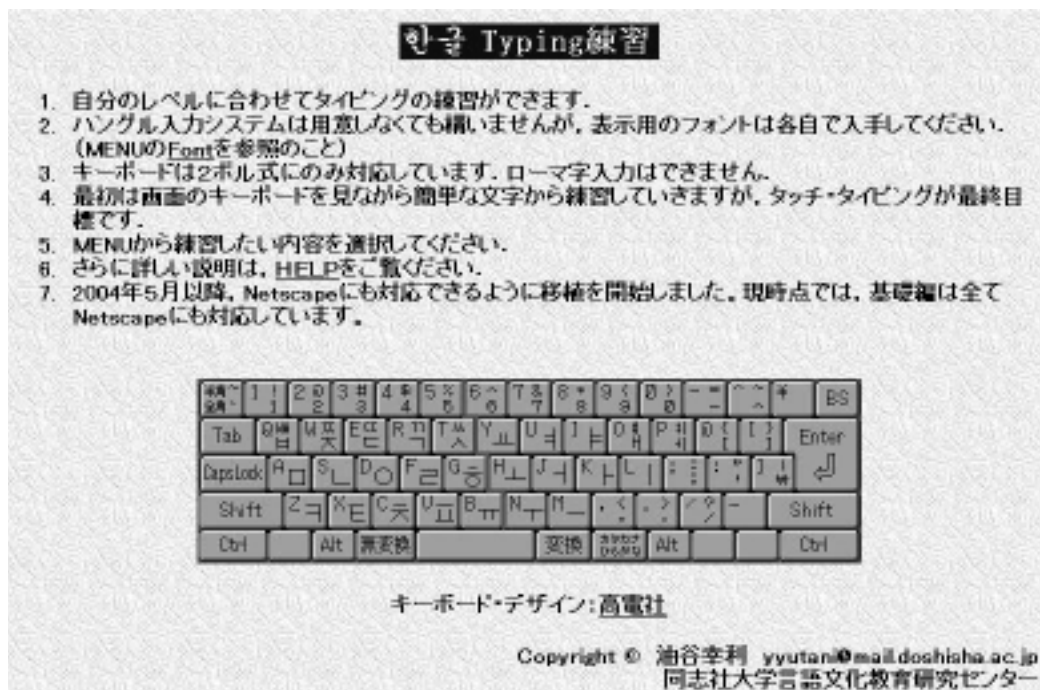


(<http://ccc.cis.fukuoka-u.ac.jp/~user/03/step/1/9/1.html>)

音声とテキストのみで、少し平板なサイトであるが九州の大学で最初に始めたことに意義がある。少し動的なサイトの開発が必要であると思われる。

次に、図7に同志社大学のハングルのウェブサイトを示す。

[図 7] 同志社大学の韓国朝鮮語 CAI の中のハングルのキーボードの練習プログラム



<http://www1.doshisha.ac.jp/~yyutani/>

このような コンピューターでハングルキーボードを打つ方法 などの入門段階の資料は、ハングルの形を分かりやすく習得するために非常に効果がある。子音のㄱ/ㅋ 스/ㅌ, 母音のㅣ/ㅓ, ㅑ/ㅕ, ㅛ/ㅠなど最初、ハングルの形に慣れることからはじめ、次に「電子辞書を引く」、「メールを作成する」などに進んでいく資料である。今、前期 朝鮮語 の5回目の授業でコンピューター教室を借りて、ハングルのキーボードを使って文書作成の練習を1コマ行っている。しかし、学習者の自律学習のためのCAIとして、九州大学でも近い将来、コンピューターに基づいた資料の開発が必要である。

4. 朝鮮語 の授業の運営に関しては、2003年度と2004年度の授業の希望要素の割合の推移を見ると、非常に目立つのは 会話 と 文法 である。会話 に関しては、2003年度の21%に対し2004年度が25.6%で非常に上がっている。逆に、文法 の方は2003年度の16%に対し2004年度は11.8%で非常に下がっている。それ以外に目立つのは 活動 で2003年度の7%が9.4%に上がっている。その結果から 朝鮮語 のカリキュラムの目標・目的・授業の運営の変化が必要だと思われる。カリキュラムとして、目標・目的・運営が既存の 新聞などの読み取り・文法・語彙 から コミュニケーションとしての会話・聞き取り 中心に変わることが必要である。

¹ 例えば、新しく韓国学科や韓国語の科目を開設する場合は、韓国語 という名称を使用する例が多い。財団法人国際文化フォーラムで実施した 日本における韓国朝鮮語教育についての調査(2002)によると、国内の大学全体では 韓国語 が70校(31.5%)、朝鮮語 が64校(28.8%)である。その他には ハングル語 や コリア語 などである。特に、私立の場合は韓国語の科目が比較的最近開設になったので現実に応じて 韓国語 という名称を使っている学校が多い。文科省も大学入試センターの科目名を 韓国語 とし、東京大学大学院でも新しく開設したコースの名称は 韓国朝鮮文化コース となっている。

5. 朝鮮語 という科目について，韓国語 という名称に変えることも必要だと思われる。言語文化教育科目としての朝鮮語は，中世朝鮮語を含む歴史的な朝鮮語という名称とは異なっている。九州大学の言語文化科目の朝鮮語は言語教育として現代韓国語を学ぶ科目である。¹今の朝鮮語の履修者はコミュニケーションができる韓国語を学びたいという動機が強い。朝鮮語を教えている native 教師と日本人教師も全部韓国語を使って，教えている。特に，九州大学は履修者の99.9%が日本人学生である。韓国に行きたい，韓国文化が知りたい，将来に役に立つと思われるという履修理由に応えるためには現代韓国語を学ぶことが必要である。従って，現代的なニーズの推移に合わせて，韓国語に名称を変更することが望ましい。

キーワード

朝鮮語 韓国語 ニーズ 言語教育 シラバス

参考にした文献等

小池生夫(編),(2003),『応用言語学事典』,研究社.

金秀晶(2004),「日本の大学における教養韓国語学習者の要求分析 九州大学を中心として」,『国語教育』第113号,韓国教育研究学会,ソウル,韓国.

財団法人国際文化フォーラム(2003),『日本の大学等における韓国朝鮮語教育 2002年度調査の中間報告』.

Brown, H.D(2001), *Teaching by Principles: Approach to Language Pedagogy*, 2nd edition, Addison Wesley Longman.

Brown, J.D(1995), *The Elementary of Language Curriculum*, Heine & Heine Publishers.

Nunan, D(1999), *Syllabus Design*, Oxford University Press.

(2000), *Language Teaching Methodology*, Pearson Education Ltd.

Richards, J.C(2001), *Curriculum Development in Language Teaching*, Cambridge University Press.

<http://ccc.cis.fukuoka-u.ac.jp/~user 03/step 1/9/1.html>

<http://www1.doshisha.ac.jp/~yyutani/>

付録

九州大学の韓国語学習者のニーズ調査

このアンケートは大学の韓国語学習者のための韓国語授業と韓国語テキスト開発に関する学習者の要求分析のものです。言語教育プログラムの設計において，大学の韓国語授業は一般的な韓国語教育と少し異なり，皆さんの学習の背景と要求をパターン化して行います。来年の授業の質的高上と大学の学習者のための特別なシラバス及びテキスト開発のために重要なものであります。皆様のご協力をお願いいたします。

平成16年 7月

九州大学大学院言語文化研究院

外国人教師 金 秀晶

・個人的な背景

1. 国籍 _____
2. 母語 _____
3. 性別 男 女
4. 年齢 _____才
5. 学部 _____
6. 学年 _____
7. できる外国語を書いてください。(_____)
8. 大学入学の前に韓国語の習った経験(あり, なし)
 8. 1. 経験ある人はその学習時間がどれくらいですか。

6ヶ月以内	6ヶ月	1年	1年	2年	2年以上
-------	-----	----	----	----	------
9. 韓国語を一週間に何時間くらい勉強していますか(授業以外)

1時間以内	1時間	2時間	2時間	3時間	3時間以上
-------	-----	-----	-----	-----	-------
10. 韓国語の履修理由を書いてください。

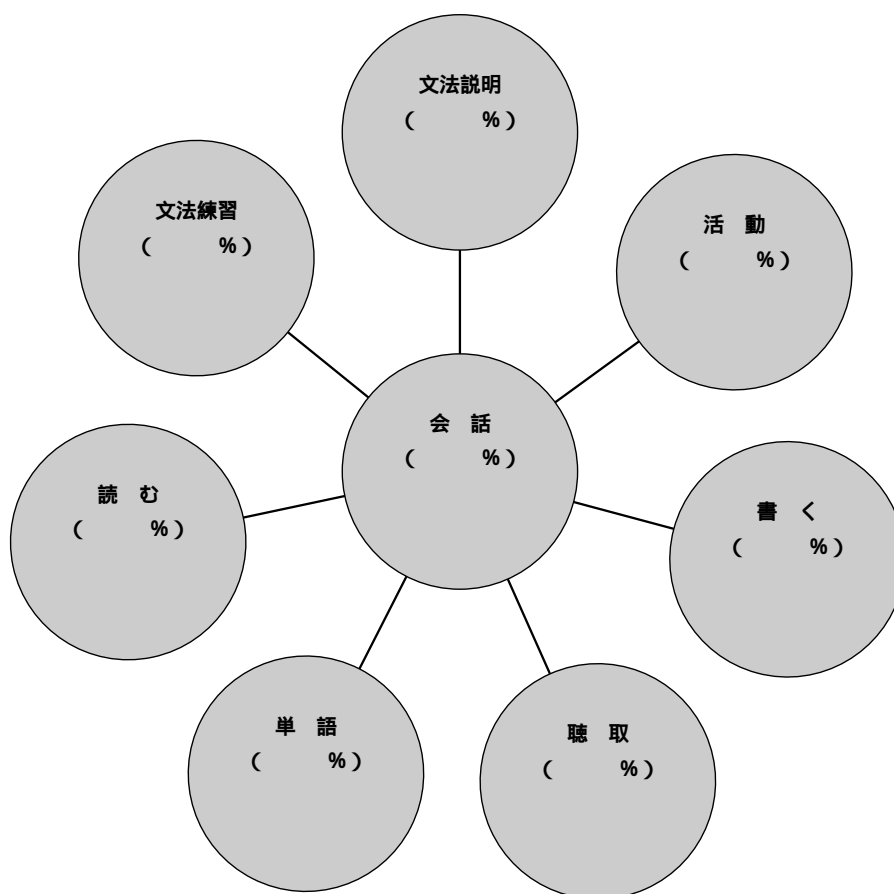
・次の問題について該当する番号にチェックしてください。

	1 : No	2 : A little	3 : Good	4 : Best
1. 私は発音の練習が好きです。	1	2	3	4
2. 私は先生が私の間違いを修正してくれるのが好きです。	1	2	3	4
3. 私は会話が好きです。	1	2	3	4
4. 私は先生が全てを説明してもらいたいです。	1	2	3	4
5. 私は新しい単語習うのが好きです。	1	2	3	4
6. 私は韓国語で友達と一緒に話すのが好きです。	1	2	3	4
7. 私は小さいグループで習うのが好きです。	1	2	3	4
8. 私は文法が好きです。	1	2	3	4
9. 私は活動しながら単語を習うのが好きです。	1	2	3	4
10. 韓国語のテレビの番組を見るのが好きです。	1	2	3	4
11. 私はテキストでの勉強が好きです。	1	2	3	4
12. 私は韓国語の読解が好きです。	1	2	3	4
13. 私はノートで筆記するのが好きです。	1	2	3	4
14. 私は授業の中でテープを聞くのが好きです。	1	2	3	4
15. 私は授業でカード, 映画, ビデオで習うことが好きです。	1	2	3	4
16. 私は授業でペアで練習するのが好きです。	1	2	3	4
17. 私は活動しながら習うのが好きです。	1	2	3	4
18. 私は一人で勉強するのが好きです。	1	2	3	4
19. 多き声で会話を練習したことがあります。	1	2	3	4
20. 文を全部覚えたことがあります。	1	2	3	4
21. 授業の終了後もそのまま韓国語の学習を続けるつもりです。	1	2	3	4
22. 韓国語の本や歌や映画を特別に買ったことがあります。	1	2	3	4

・ 該当する答えを選んでください。

- 1 . 韓国語を習う上での目標は ,
韓国語会話ができるようになる。
韓国の新聞や本を読めるようになる。
韓国語ニュースや映画を聴取できるようになる。
手紙やメールを韓国語で作文できるようになる。
その他 ()
- 2 . 授業中 , 先生がどれくらいの割合で日本語と韓国語の使用するのが望ましいですか。
できるだけ全部日本語で
できるだけ全部韓国語で
その他 ()
- 3 . 韓国語の授業の中で一番難しいことは ?
スピーキング
発音
文法
単語
聞き取り
読解
書き取り
その他 ()
- 4 . 韓国語の授業の中で一番面白いことは ?
スピーキング
発音
文法
単語
聞き取り
読解
書き取り
その他 ()

5. 授業中(90分)で次の要素が何パーセントくらい必要だと思いますか。(全部で100%)



以上です。お疲れさまでした。ありがとうございます。